

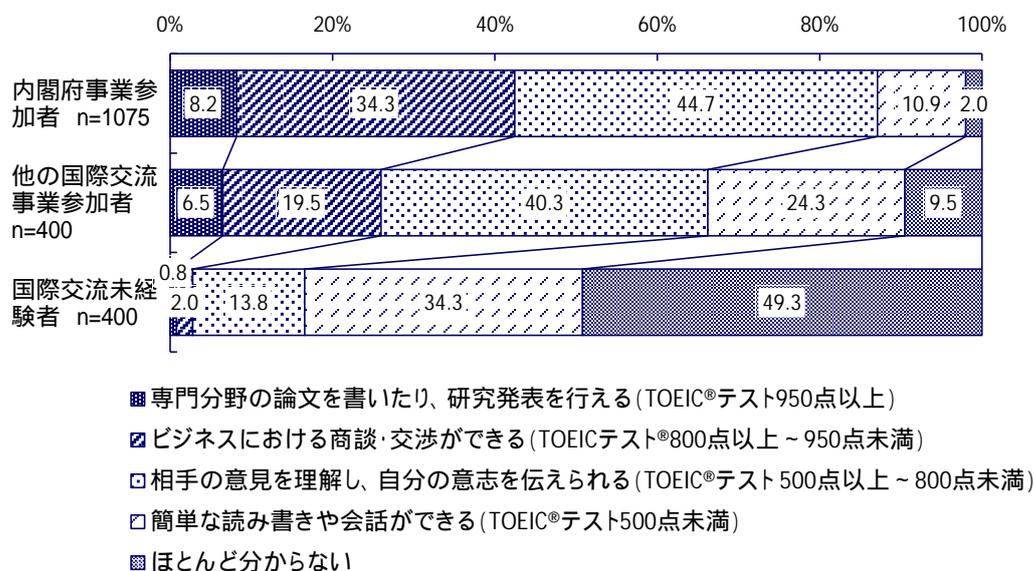
7 スキルの保有・開発の状況

(1) 英語の活用レベル

問 29 あなたの現在の語学力について、下記の(1)(2)にご回答ください。

(1) 英語の活用レベル

図表 7-1 英語の活用レベル



英語の活用レベルについて聞いたところ、内閣府事業参加者及び他の国際交流事業参加者では「相手の意見を理解し、自分の意志を伝えられる(TOEIC®テスト 500点以上～800点未満)」が最も多く各44.7%、40.3%、国際交流未経験者では「ほとんど分からない」が最も多く49.3%となっている。

< 検定結果 >

	内閣府 他の事業	内閣府 未経験者	他の事業 未経験者
図表 7-1	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01

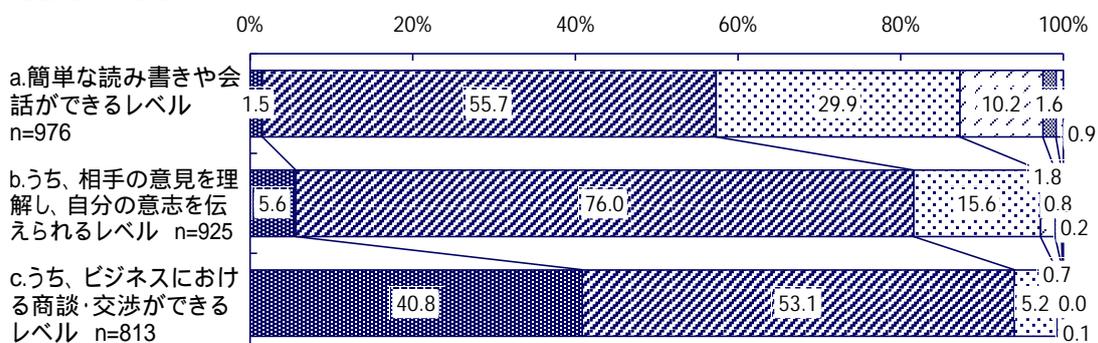
(2) 活用できる外国語の種類数

問 29 あなたの現在の語学力について、下記の(1)(2)にご回答ください。

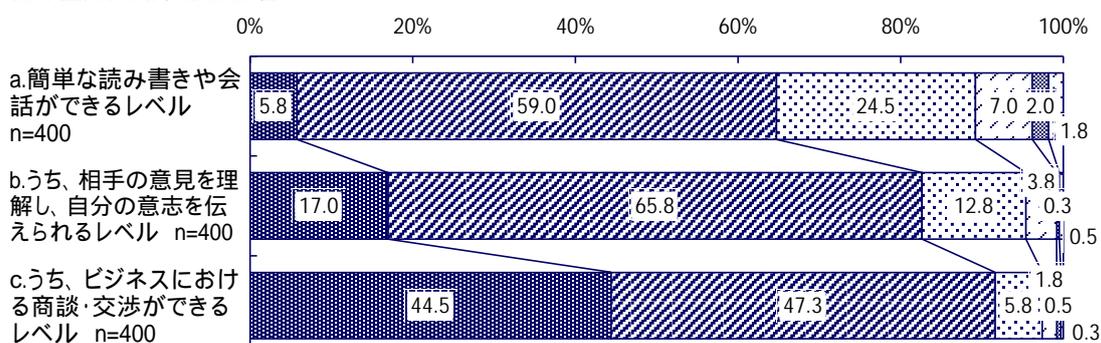
(2) 活用できる外国語の種類数 (英語を含む)

図表 7-2 活用できる外国語の種類数 (英語を含む)

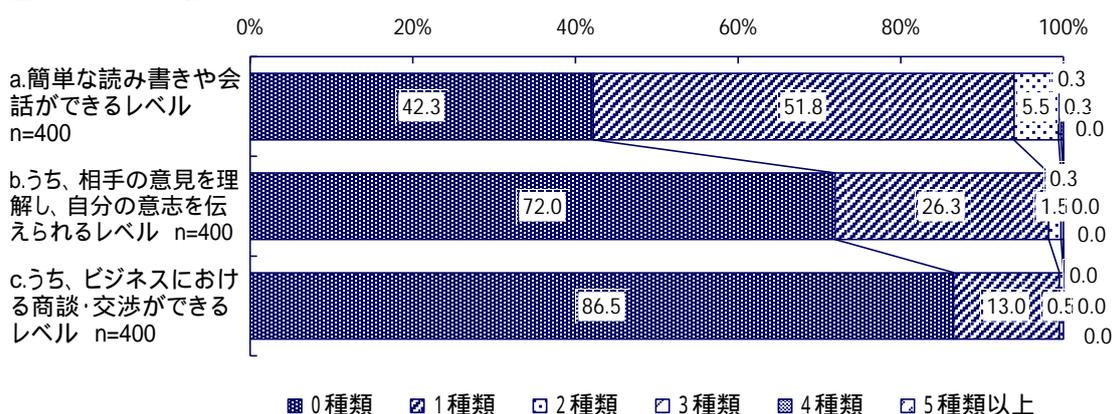
内閣府事業参加者



他の国際交流事業参加者



国際交流未経験者



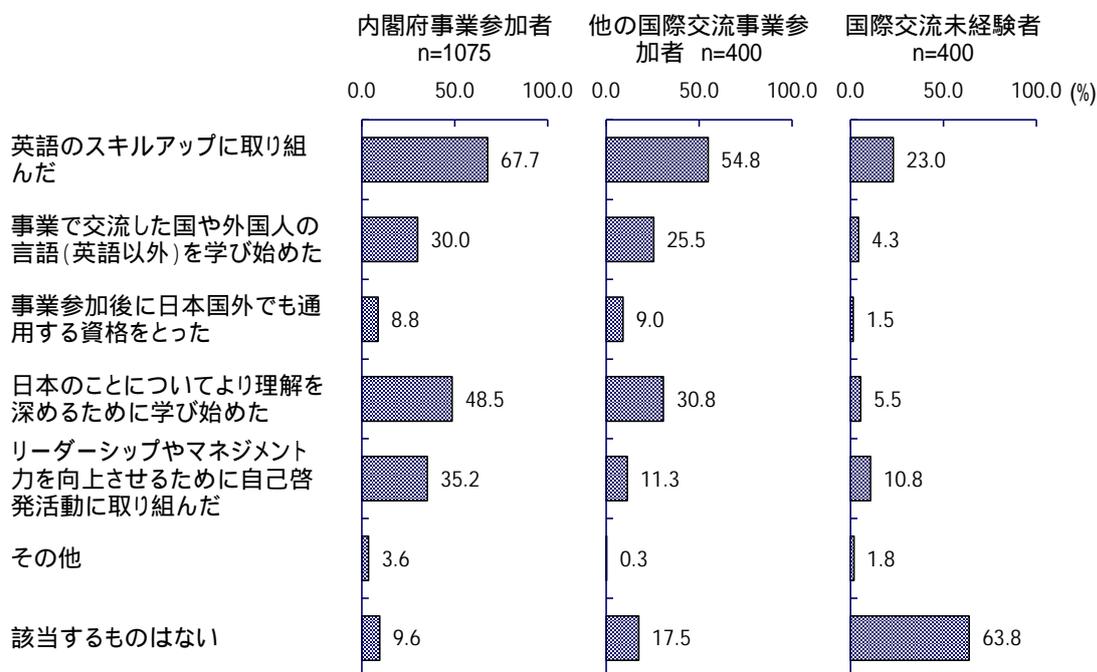
■ 0種類 ■ 1種類 □ 2種類 □ 3種類 ■ 4種類 □ 5種類以上

活用できる外国語の種類数(英語を含む)を聞いたところ、内閣府事業参加者、他の国際交流参加者では『a.簡単な読み書きや会話ができるレベル』、『b.うち、相手の意見を理解し、自分の意志を伝えられるレベル』、『c.うち、ビジネスにおける商談・交渉ができるレベル』すべてで「1種類」が最も多くなっている。国際交流未経験者では『a.簡単な読み書きや会話ができるレベル』は「1種類」、『b.うち、相手の意見を理解し、自分の意志を伝えられるレベル』、『c.うち、ビジネスにおける商談・交渉ができるレベル』は「0種類」が最も多くなっている。

(3) 各種スキル開発への取り組み状況

問 30 あなたは内閣府事業への参加をきっかけに、各種スキルの開発に取り組むようになりましたか。該当するものをお選びください。(複数選択可)

図表 7-3 各種スキル開発への取り組み状況



内閣府事業参加者以外調査票では、「内閣府事業への参加」が他の国際交流事業参加者では「国際交流事業等への参加」、国際交流事業未経験者では「あなたは社会人になってから」となっている。

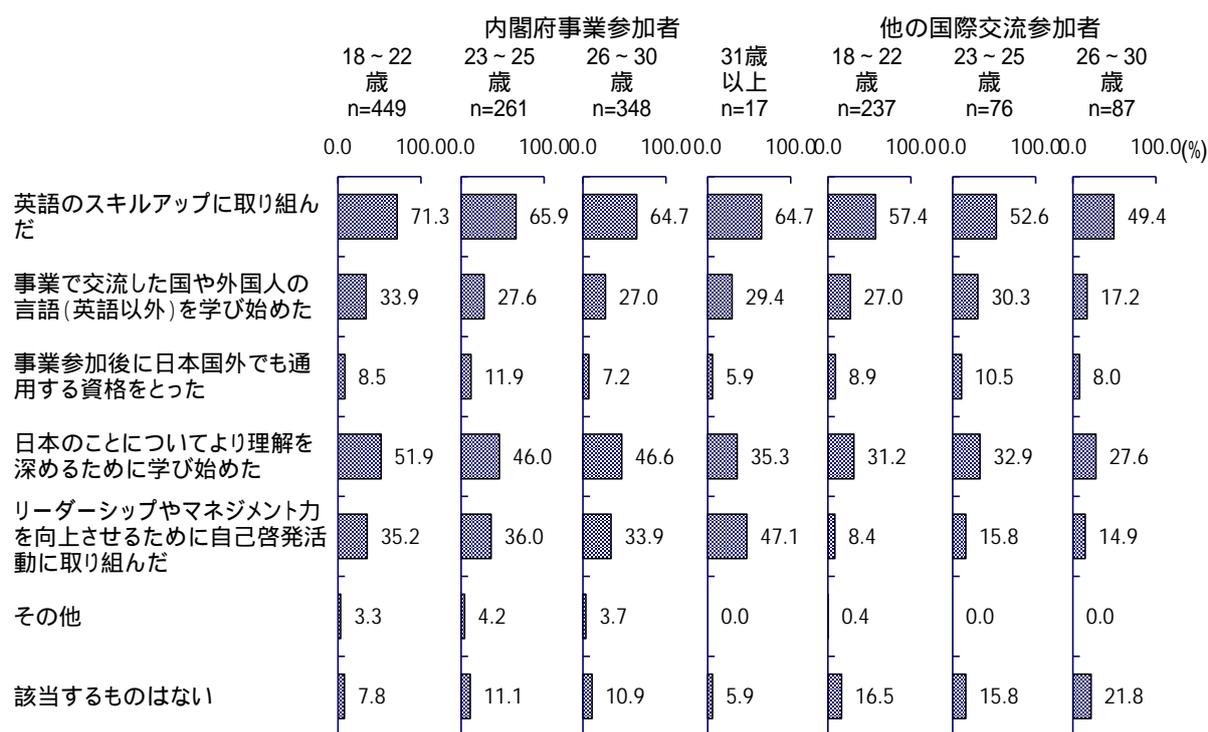
国際交流事業等への参加をきっかけに取り組むようになったスキルの開発について聞いたところ、内閣府事業参加者、他の国際交流事業参加者ともに「英語のスキルアップに取り組んだ」、「日本のことについてより理解を深めるために学び始めた」の順に多く、前者は内閣府事業参加者 67.7%、他の国際交流事業参加者 54.8%、後者は同 48.5%、30.8%となっている。

国際交流未経験者は、「該当するものはない」が 63.8%と約 3 分の 2 を占めるが、取り組んだものの中では「英語のスキルアップに取り組んだ」が 23.0%と多くなっている。

< 検定結果 >

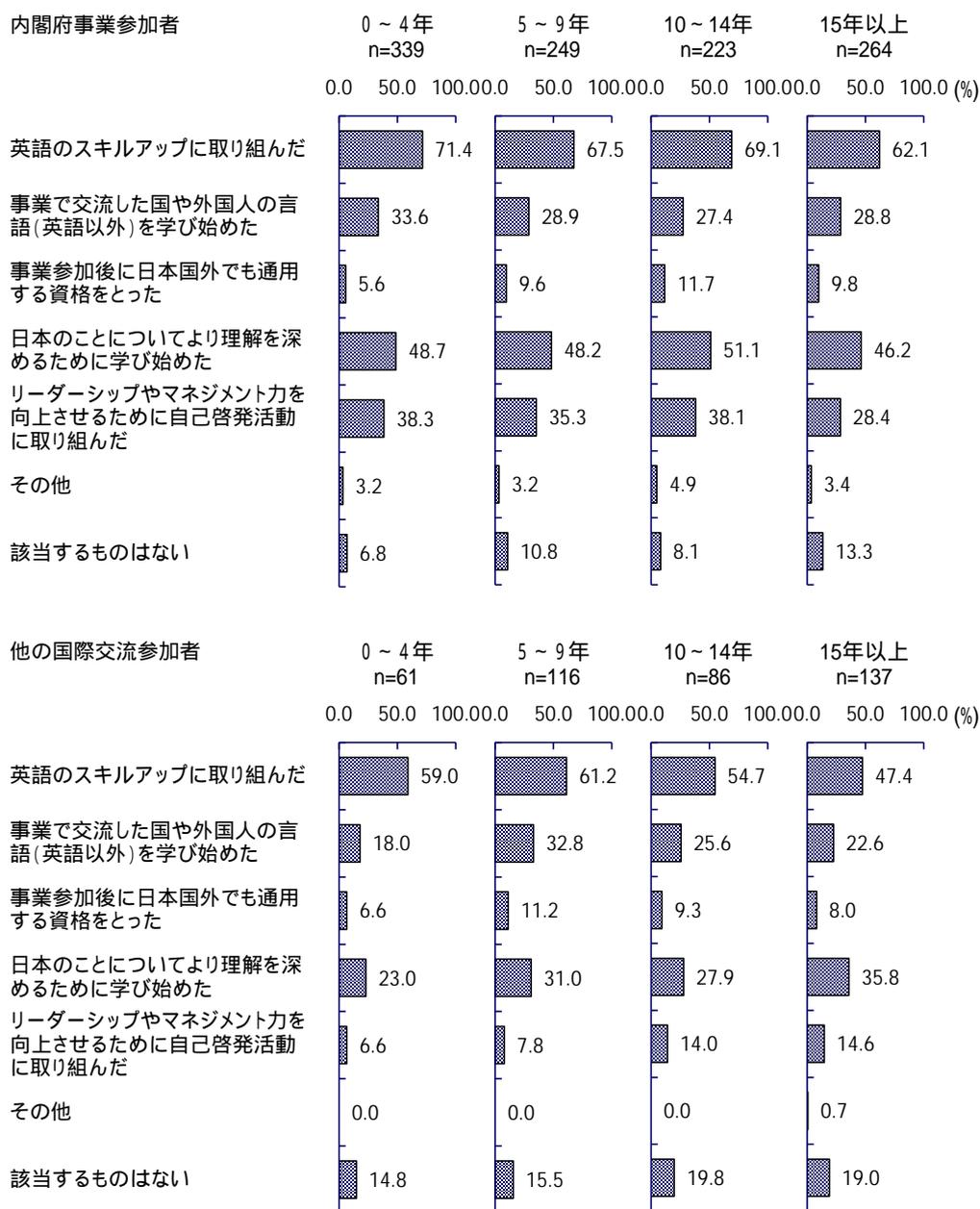
		内閣府 他の事業	内閣府 未経験者	他の事業 未経験者
図表 7-3	英語のスキルアップに取り組んだ	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	事業で交流した国や外国人の言語を～		p < 0.01	p < 0.01
	事業参加後に日本国外でも通用する資格をとった		p < 0.01	p < 0.01
	日本のことについてより理解を深める～	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	リーダーシップやマネジメント力を向上させる～	p < 0.01	p < 0.01	
	その他	p < 0.01		p < 0.05
	該当するものはない	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01

図表 7-4 各種スキル開発への取り組み状況 <参加時の年齢別>



国際交流事業等への参加をきっかけに取り組むようになったスキルの開発を参加時の年齢別にみると、内閣府事業参加者、他の国際交流事業参加者のいずれの年齢においても「英語のスキルアップに取り組んだ」が最も多くなっている。

図表 7-5 各種スキル開発への取り組み状況 <参加からの期間別>



国際交流事業等への参加をきっかけに取り組むようになったスキルの開発を参加からの期間別にみると、内閣府事業参加者、他の国際交流事業参加者のいずれの期間においても「英語のスキルアップに取り組んだ」が最も多くなっている。

(4) スキル開発への具体的な取り組み状況

問 31 【問 30 で 1 ~ 6 を選んだ方のみ回答】どのようにスキル開発に取り組みましたか。具体的にご記入ください。

内閣府事業参加者 意見例

・英語に関するもの

- *参加青年とメールでやりとり（英語）をするようにした。
- *TOEIC の講座を受講したり、セミナーなどを受講した。
- *英会話教室に通い、参考書を読み、外国人と交流した。
- *英語力の向上に努め、海外の大学院に入学し、スキルアップし、海外で得られる資格を取得し、日本でのリーダー的な活動を行えるようになった。
- *できるだけ英語に触れる機会を増やした。
- *地域や近隣の大学などでの公開講座等に参加した。英会話スクールに通った。

・英語以外の外国語に関するもの

- *大学の講義にアラビア語があったのでそれを履修するようになりました。
- *派遣国であるラオスのラオス語テキストを購入し、それをういて facebook など SNS 上でラオス青年とメッセージのやり取りをした。
- *中国語、韓国語など独学での語学力習得
- *諸団体が運営する語学教室への参加。勉強会への出席。
- *タイ語講座で初級レベルではあるがタイ語の学習。仕事でも部分的に必要なためであったため。事業でタイの友人が出来たこともきっかけ。
- *NHK の外国語講座を利用した。

・国外でも通用する資格に関するもの

- *公認会計士の資格取得
- *職場において、IFRS（国際会計基準）の研修を 1 ヶ月間受講し、国際的な会計基準を学び、アメリカの公認会計士の勉強をした。成績優秀であったため、その後アメリカに 10 日間出張し、国際機関（世界銀行、IMF、米州開発銀行等）や会計事務所を訪問。職員の方々に話を聞くことができた。通勤時間や休日に英語を勉強し、TOEIC を受験した。
- *事業にて自分の担当した教育コースに関する資格を取得しました。
- *雇用保険開発機構主催の貿易業務の資格取得講座に参加した。
- *将来、海外の途上国で医療活動をするため、40 にして正看護師の資格を取った。

・日本についての知識などに関するもの

- *外国語で書かれた日本に関する書物を読む。
- *日本の歴史(特に第二次大戦～高度経済成長期～現在)の勉強。通常の学生生活ではこれらに対する勉強は不足しているにもかかわらず、内閣府事業を通じてこの部分の勉強が非常に大切(日本人としてのアイデンティティーの創出につながるため)だと感じた。
- *日本語検定の学習、日本の良さの見直し(本やテレビで)
- *茶道を海外に広めるため茶道、英語の勉強をしました。
- *興味を持った分野(日本の神社仏閣等)において、その分野の歴史等の書物を読むことや実際に訪ねることをしました。
- *海外で日本を語れる様、日本が世界からどの様に見なされているかについての論文を書いた。

・自己啓発に関するもの

- *リーダーシップやマネジメントに関する書籍やセミナーを通じて勉強している。
- *別の回のナショナルリーダーがこの分野で有名な方だったので、一時期弟子のようにして頂き学んだ。また、自分の期のナショナルリーダーと NPO を立ち上げるにあたり共に学んだ。その他、研修を受ける、自己学習等
- *ファシリテーション向上のための研修参加や、実践を通じた OJT、積極的に挑戦することで失敗を重ねて自らのスキル向上を図った。各種勉強会に参加することで、視野を広げつつ自らの仕事の幅を広げ、マクロな視点から事象をとらえて行動できるように工夫している。
- *自己啓発本を読むようになりました。
- *ファシリテーションの講座に参加したり、国際理解の講座への参加や講座実施の経験をさせてもらった。
- *積極的に内閣府の事後活動に参加し、交流を図っている。また、時間を見つけて、自己啓発の活動(内閣府事業とは関係ない)に参加している。

- *地域講座への参加。ファシリテーションなどリーダーに必要なスキル向上のための講座への参加。
- *自己啓発関連のセミナーに参加したり、自らインターネットや書籍で情報を収集したりした。また、事業参加後に海外の大学院に進学したため、意識を高くもって、セミナー等に参加した。

・その他

- *子どもと接する仕事なので、子供のことを深く知るために保育士を取得しました。
- *音楽演奏技術向上。他国の気になる情報を常にチェック。インターネットを使って諸連絡の取り方を学ぶ。写真や情報の共有
- *書店で関連国の歴史本を読む、言語学習教材を使用する。
- *ボランティア活動に積極的に参加しました。また内閣府事業でのネットワークを生かして、さまざまな先輩からアドバイスをいただいた。
- *大学で、環境及び人間との関わりを学びはじめた。
- *日本国内の仕事をやめ、海外で現在働き始めたばかりですが英語力や世界に通用できるように日々努力をしています。
- *積極的に経験を積める場に出て行く様にした。具体的には国際交流の現場に積極的に出た。

他の国際交流事業参加者 意見例

・英語に関するもの

- *難しくない英語の文献を読む程度。
- *TOEIC 受験
- *英字新聞の購読
- *英会話教室に一年間通学した。
- *日常会話やメールでのやり取りができるレベルように、海外メディアからの情報を積極的に取り入れた。

・英語以外の外国語に関するもの

- *語学の勉強に割く時間を増やした。
- *交流センターに行き外国人と会う機会を増やす。
- *会話を中心に、自分のことをはっきり述べるように取り組みました。
- *ドイツ語勉強し始め、留学した。

・日本についての知識などに関するもの

- *まずは「武士道」の本来の意味を理解し海外のみならず日本人に伝えられるように根底から勉強した。
- *海外の方よりも日本の歌舞伎や歴史をより深く学ぶ。
- *中国古典や日本の良著を読む読書会に参加し、日本について理解を深めている。
- *日本の歴史、文化について深く学習を行うことになった。
- *本や雑誌を読む。

・自己啓発に関するもの

- *政治系活動に参加
- *会社が提供する MBO や MBB によるマネジメントスキル研修への参加。クリティカルシンキングを学びにビジネススクールへ通う。
- *国内の NGO 活動に参加し、イベント開催のノウハウ等を学んだ。

・その他

- *同じ立場の者と定期的に勉強会を開いている。
- *今後必要とされるであろうスキルを絞込み習得することに取り組んだ。
- *実践機会と書籍、インターネット
- *勉強短期留学
- *とりあえずいろんなことに挑戦しました。今まで全く興味のなかった事にも前向きに取り組みました。
- *起業する際必要な事務的な資格から CAD 等のスキル全般、宅建等の不動産関連の資格

国際交流事業未経験者 意見例

・英語に関するもの

- *英会話教室
- *英語力が身に付くゲームをしたり、スマートフォンのアプリで英語の絵本を読んだりしていた。
- *単語を少し覚えて、英語のニュースやラジオの会話などを聞きましたけど、まだまだ聞き取れません。
- *英文メールのやり取りが必要になったので、自分に直接関係がない英文メールも読むようにした。

・英語以外の外国語に関するもの

- *マンツーマンで中国語を習得する学校に通った。
- *中国語
- *ハンゲル

・日本についての知識などに関するもの

- *日本史再勉強
- *こちらが外国語を学ぶことより外国人の方に日本の歴史、風習、言葉を勉強してもらおう事が大事だと思う。

・自己啓発に関するもの

- *経営マネジメント研修を、2年以上受けた。
- *話すこと、伝えることに特化したナレーターMC業につき、舞台上やHP,電話案内などで、声や体で伝えるというスキルアップを図った。
- *以前就職した会社で管理者教育、経営教育を長年教わってきた。独学で企業経営、創業を学んだ。
- *特殊な人たちの話を聞きに行く。
- *リーダーシップやコミュニケーションスキルなどの外部講習に参加したり、技術資格を取得した

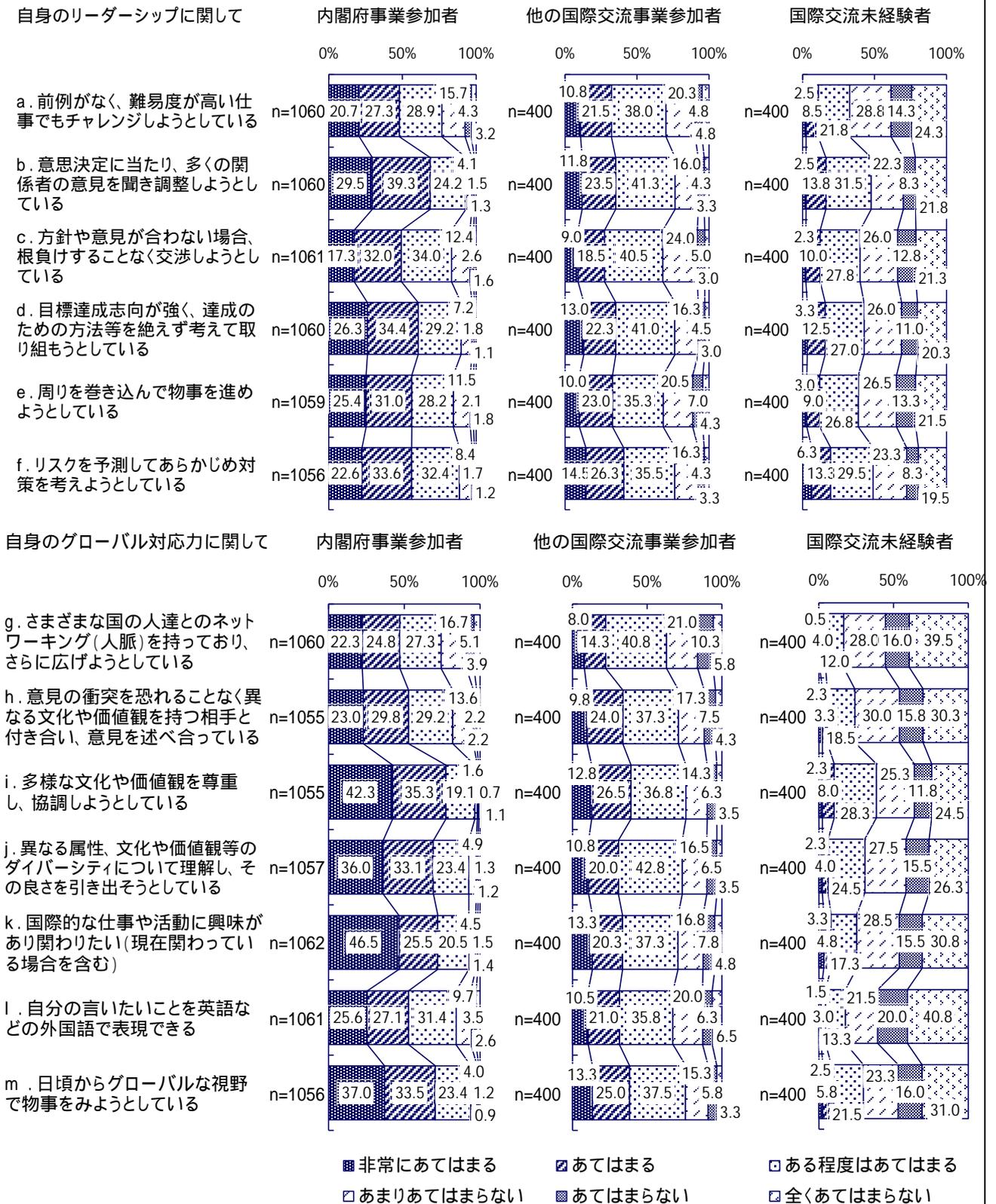
・その他

- *聖書に出てくる人物の成功例、失敗例を学び、その教訓を自分の生活にあてはめる。
- *外部団体の講習へ参加
- *効率よく仕事をするため、文献等を参考にした。
- *市販の参考書を使って独学

(5) リーダーシップやグローバル対応力に関するスキルやマインドの状況

問 32 あなたご自身の考え方や能力について、下記 a から m に挙げる項目について、「非常にあてはまる」「あてはまる」「ある程度はあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」「全くあてはまらない」のうち該当するものをそれぞれ 1 つお選びください。

図表 7-6 リーダーシップやグローバル対応力に関するスキルやマインドの状況



自身の考え方や能力について聞いたところ、「非常にあてはまる」は『k. 国際的な仕事や活動に興味があり関わりたい（現在関わっている場合を含む）』の内閣府事業参加者で46.5%、『i. 多様な文化や価値観を尊重し、協調しようとしている』の内閣府事業参加者で42.3%などと割合が高くなっている。他の国際交流事業参加者では『f. リスクを予測してあらかじめ対策を考えようとしている』で「非常にあてはまる」が14.5%などとなっている。

< 検定結果 >

		内閣府 他の事業	内閣府 未経験者	他の事業 未経験者
図表7-6	a . 前例がなく、難易度が高い仕事でもチャ～	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	b . 意思決定に当たり、多くの関係者の意見～	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	c . 方針や意見が合わない場合、根負けする～	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	d . 目標達成志向が強く、達成のための方法～	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	e . 周りを巻き込んで物事を進めようとして～	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	f . リスクを予測してあらかじめ対策を考え～	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	g . さまざまな国の人達とのネットワーク～	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	h . 意見の衝突を恐れることなく異なる文化～	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	i . 多様な文化や価値観を尊重し、協調しよ～	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	j . 異なる属性、文化や価値観等のダイバー～	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	k . 国際的な仕事や活動に興味があり関わり～	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	l . 自分の言いたいことを英語などの外国語～	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	m . 日頃からグローバルな視野で物事をみよ～	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01

「非常にあてはまる」+「あてはまる」、それ以外の2カテゴリーで計算。